

AIと共に生きる世界を目指す 日立の研究開発のご紹介

日時・場所：2022年6月15日(水) 12:20～13:10@M会場

テーマ①

AIの説明性と公平性への取り組み

演者

間瀬 正啓 (Masayoshi MASE, Ph.D.)

株式会社日立製作所
先端AIイノベーションセンター メディア知能処理研究部 主任研究員

概要

社会から信頼されるAIの実現に向けて、AIの説明性は必要不可欠となってきました。近年では、数学的に望ましい性質をもつShapley値を用いた根拠説明手法が普及していますが、算出過程で実世界に存在しないデータを合成して推論することから、説明の信頼性に疑問があるケースがありました。本セッションでは、既存手法を概観した上で、観測データのみからShapley値を計算することで高い信頼性をもったAIの説明を可能とする日立開発のCohort Shapleyについて紹介します。

テーマ②

マテリアルズ・インフォマティクス - 材料探索とAI

演者

刑部 好弘 (Yoshihiro OSAKABE, Ph.D.)

株式会社日立製作所
先端AIイノベーションセンター 知能情報研究部 研究員

概要

AIを材料開発に適用するマテリアルズ・インフォマティクス(MI)の取り組みが広がってきており、日立では2017年からMI活用を支援する「材料開発ソリューション」をご提供しています。本セッションでは、新規材料開発に活用される深層生成モデルにスポットを当てその技術動向を概観するとともに、学習用の実験データが少量でも高性能材料を高確率で発案する日立独自の深層生成モデルについてご紹介します。

司会：十河 泰弘 (Yasuhiro SOGAWA, Ph.D.)

株式会社日立製作所
先端AIイノベーションセンター メディア知能処理研究部 リーダ主任研究員